

【喫煙者と非喫煙者が共存できる社会の実現に向けて】

大阪市内の喫煙所充足数及び たばこのポイ捨て状況に関する調査

<我々の考え>

たばこの吸い殻ポイ捨て調査結果により、大阪市は条例施行後もポイ捨てが多いエリアがあるといった結果となっています。これは国法を上回る大阪府受動喫煙防止条例の影響により加速度的に飲食店の屋内禁煙が進み、路上等屋外での喫煙が増えたことが背景にあるとこと、飲食店の密集するようなエリアでの喫煙所整備が進んでいないことが要因であると考えられます。そもそも大阪市の当初整備目標数であった 140 箇所との考えにおいては、府条例の影響により屋外で喫煙をする人が増えるといった考えは含まれておらず、このような調査結果になったと考えられます。実際にアンケート調査においても、約 7 割の方が「喫煙所が不足している」との回答をしており、約 8 割の方が、路上喫煙が減るなら喫煙所の増設に賛成するといった結果となっている事を踏まえ、大阪府はもとより、特に市内全域において 2 重の喫煙規制となっている大阪市において、引き続き行政の責務として必要な場所に十分な数の喫煙所が整備されていく事を期待しております。